日本共産党のえんど久子市議　広域圏議会で質問

藤ヶ谷　野積みゴミ今も545トン

２月１５日、別杵速見広域圏議会が開かれ、えんど久子議員は、処理が追いつかずに藤ヶ谷清掃センターの屋外に積み上げられた野積みゴミの問題などを質問しました。

処理が進まず延期くり返す

この野積みゴミ問題は、１０月下旬より発生し、はじめは１２月末までに全て処理すると言っていた案件です。それが、１月末までに伸び、さらに２月末までに延期と言います。

煙道がつまってしまうなどのトラブルが起き、清掃点検のために炉を数日停止したことなどが、予定どおりに処理がすすまない原因です。

最高時は１１月１３日の時点で１７１５トンのゴミが山積みされていました。現在の残量は５４５トンとえんど議員の質問に答弁しました。

藤ヶ谷清掃センター　ゴミを投入する車両

えんど久子議員は「今回の野積みゴミの処理を大分市にお願いしたのか。本当に２月末までに処理が終わるのか」と質問。

それに対し「２月末までに処理できる予定。再び炉が故障したときに処理を依頼できるよう、大分市と協議している」と答弁がありました。

えんど久子議員は、「見通しが甘かった。この問題が発生して３ヶ月以上経過するが、大分市との協議がすすんでいない。早急に大分市との協議をすすめ協定を結ぶべき」と求め、「早急に協議したい」と答弁がありました。

藤ヶ谷清掃センターの敷地内に積み上げられた燃やせるゴミ

２０１１．１２．１６．撮影

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党　別府市議団
げんきニュース
発行責任者　平野文活
別府市石垣西8－2－31
TEL0977－22－6576
No.501
2012. 2. 22.

TEL・FAX　平野文活21－6749・えんど久子25－7630
http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/

広域圏議会　えんど久子議員が質問

1面のつづき

ベテラン職員解雇の影響は?

地下水や温泉は大丈夫

また、「ゴミや消毒用の薬剤などの地下水や温泉への影響はないのか」との質問に「２ヶ月ごとに水質検査をしているが問題はない」と答弁。

「年１回の詳細な水質検査を毎年４月にしている」と言うので、えんど久子議員は「詳しい検査を４月といわず早めて、野積みゴミの影響がないか調べるべき」と求め、「検討する」と答弁がありました。

委託業者変更との関連は?

えんど議員は、３０年以上運転を委託してきた三菱重工業の子会社九州重環から、実績がない新会社別府環境エンジニアリングに変わったことを問題にしてきました。今回の議会でも、えんど議員は、この問題と野積みとの関連を指摘しました。

「老朽化した炉を熟練した職員が運転してきたのに、そのベテランの職員を１０人解雇したことが、故障やトラブルが相次ぐ事態に影響しているのでは」と指摘しました。

日本共産党は、新年度の運転を別府環境に委託する予算に反対しました。

少ない年金どうにかして

最低限の生活を下回る年金しかない高齢者のため「高齢者手当」というものはできないものでしょうか。年を取るにつれ仕事がなくなり、おまけに病気にでもなれば、これから高齢者がふえるというのに…。元気な老後を送れないとなると、「もう充分に生きてきたし…」と高齢者の自殺者が増えていくのが心配です。

これからは、元気な子どもが増え、高齢者も元気な日本を創りたいものです。ハッピーリターン！！

朝見　鬼島チエ子さん

ご意見を寄せていただいたので紹介します。

新焼却場の土台部分の工事が進む（手前）
２０１１．１２．１６．撮影